

交通弱者の声に 対応を

Q 公共交通の現状と課題の把握のために多くの住民に意向調査をする方が良いと思うが調査対象は何人なのか。

A 住民3000人にアンケートを送付する。老年人口の伸び率や交通不便な場所など分析段階でも意見を求める。



▲青色パトロールカー

人間ドックの 費用補助は

Q 人間ドック健康診断（日帰り）費用の補助が新たに始まるが、指定医療機関は。また、補助内容は。

A はりま病院と加古川総合保健センターで対応。役場窓口で助成券を発給し費用の約7割を定額補助する。

大気汚染常時監視は

Q PM2.5の測定結果はどのように生かされているのか。また住民への周知は。

A 国が示す指針値を超える場合、県からの注意喚起情報を受け、本町では防災ネットはりま・町ホームページ・学校などへ情報提供している。



▲PM2.5測定装置（庁舎屋上）

新幹線の 騒音対策は

Q 騒音測定結果は、時々環境基準値70デシベルを超えているようだが、生活環境を改善するための対策は。

A 暫定基準値の75デシベル以下で推移しているが、JRに3市1町連絡会議で年に1度要望書を提出し改善を求めている。



▲町内を通過する新幹線

就学援助への 影響は

Q 就学援助率は。また、生活保護基準額の引き下げによる就学援助者への影響は。

A 自治体ごとに所得基準が違いますが昨年の就学援助率は、15.6%。就学援助受給者に影響のないよう考えたい。

南小学校校舎 増築の内容は

Q 現校舎のどこに増築するのか。また、教室数の計画は。

A 将来を見込んで校舎の南側に普通教室など6クラスと図書室を計画している。



▲自転車専用レーン（明姫幹線）

防犯活動パトロールは

Q 安全安心パトロール負担金で50万円計上されているが、事業内容は。また危険事例の報告はあるのか。

A 加古川市に実施を依頼。青色パトロールカーで学校園を中心に週1回午後2時間ほど巡回。危険報告はない。

住宅改修の理由書 作成支援は

Q 住宅改修の理由書を個人で作成するのは大変な労力を要する。新たに始める作成支援事業の内容は。

A 介護認定者でサービスを利用しない方も作成支援が受けられるよう、一定の要件を満たす場合にはケアマネジャーに手数料を支払う。

肺炎球菌 ワクチン接種の補助は

Q 予防接種により医療費削減につながるがあるが、高齢者・障がい者の肺炎球菌ワクチン接種補助の予定は。

A 平成26年10月に定期接種実施予定。対象者は65歳の人、60～64歳の人インフルエンザの定期接種対象者と同様。

ガラス飛散防止 対策を

Q 中学校特別教室や天井など落下防止、播中北校舎トイレ、南中東校舎大規模改修など施工時に飛散防止ガラスは必要。

A 夏休みに工事を考えている。改修をする教室やトイレの窓ガラスも強化ガラスに替える。

地域連携交流施設の 実情は

Q 町と特別支援学校との間で、契約書もなく団体に補助金を出している。補助金要綱にその団体名が入っているのはなぜか。

A 補助金要綱に団体名が入っているのは、特別支援学校長がこの団体を認めているからである。

交通安全教育と 啓発を

Q 自転車の左側通行が義務化された。児童や高齢者はもちろん保護者の方にも法令順守や賠償責任について啓発を。

A 児童生徒には教育しており、保護者に対しても啓発していく。また、義務化について広報4月号でお知らせする。